

仲善支部 活動報告

1 研究主題

『高度情報通信社会における
メディア教育の在り方』
～メディア活用の目的を
明確にした授業作りの研究～

場所 まんのう町立満濃中学校

内容 各中学校でICT機器を活用し
た授業の実践事例や研究の報告

2 はじめに

現在、世界では情報が諸資源と同等の価値を持ち、それらを中心として機能する社会へと変化している。このような社会の流れにともなって、近年学校教育も変化をし、教育現場では情報ネットワークが整備され、ICT機器の大幅な導入とともに情報のデジタル化が進んでいる。メディア部会では、この流れを学校教育に取り入れ、生徒たちに還元していく手だてについて研究を続けている。

これまでの研究では、各学校でのICT教育機器や校内LANなどを日常的にどのように活用して「わかる授業」に役立てていくかを実践し、その結果を相互に共有していくことを目的としていた。

本年度もこの方針を尊重し、特に部会員によるメディア活用の目的を明確にした授業作りについて研究を進め、その結果を検討し、相互に共有することにした。

3 研究計画

(1) 5月1日(火)

香中研中善支部総会

場所 善通寺市立西中学校

内容 研究主題の検討

研究の年間計画作成

研究組織の決定

(2) 7月29日(月)

香中研仲善支部教科外研究会

4 研究内容

今年度は、各部会員がそれぞれの担当教科で「わかる授業」の実現のためにICT機器をどのように役立てるかを研究し、指導案の作成や研究授業の実践を行った。以下は、その実践例である。

(1) 理科における実践事例

実験の方法や観察ポイントを説明する際、教科書に掲載されている写真や予備実験の様子を写真を大型テレビに映して授業を行った。生徒が手元で細かい作業を行っている間でも、どのように実験するのか、どの部分を観察するのかを顔を上げて見比べ、ひとつひとつ確認しながら取り組むことができるため、大変効果的であったと考えられる。この授業では、イカを切り開いた時に見ることのできる内臓の位置や各部分の名称を大型テレビで表している。普段は見ることのできない生物の様子を確認することもでき、生徒にも好評であった。



(2) 数学における実践事例

今年度4回行った研究授業では、教材提示装置やパワーポイント、電子黒板を利用して授業を行った。パワーポイントを用いて、一次関数では時間と共にバスが動く様子、図形では直角三角形に動きをつけ、生徒たちの理解を助けることができる。平方根ではインターネットを利用し、ルート50の値を50桁まで教室で見せることができた。



(3) 英語における実践事例

新しい言語材料の導入では、パワーポイントや動画で教師による英会話のやり取りを見せて、視覚的効果により生徒の興味・関心を引き出した。また、教科書の本文を大型テレビに映し出して口頭練習を行った。生徒の全員は、顔を上げて元気よく発音練習することができ、基礎・基本の定着を図ることができた。画面を見ながらの学習により、生徒はより一層集中して授業を受けることができた。



(4) 体育における実践事例

右の写真は剣道の授業において、自分たちの練習の姿をiPadで撮影し、それを見ながらどうすればうまく打ち込みができるかを考えている生徒たちの一場面である。自分の動きを客観的に見て分析することができるため、効果的であった。



5 今後の課題

上記に示した実践事例以外にも、部会員の担当教科である美術や技術の教科で研究授業の実践事例や指導案作成の報告があった。中には、道徳での活用を試みた部会員もいた。鮮明な実物の写真や動画、アニメーションなどは、視覚的効果によって生徒の思考を支援したり、興味・関心を高めたりすると部会員たちは、実感していた。

今年度は部会員のみが研究を進めたが、今後は全教員が各教科や分野で積極的にICT機器を活用した授業の展開を考えていくとともに、ICT機器の存在をより身近に感じるために、各教員の自己研鑽と教育現場への設備の充実が課題である。